

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を中心に毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《家庭内消費は堅調に推移しているが、『年末年始期』は万全の体制で臨むことが必要》

- ・12/14週の家庭内消費については、牛乳・成分調整牛乳は、前週(12/7週)より伸び率が拡大しており、好調に推移している。
- ・また、ヨーグルト(大容量)については持ち直し傾向にあり、需要がピークの家庭用バターについてもさらに伸び率が拡大して推移している。
- ・こうした、巣ごもり需要が主要因と考えられる好調な家庭内消費によって、都府県の生乳需給は、予想と反して、ひっ迫基調で推移しているが、学校や一部量販チェーンが休業となる『年末年始』については、生乳需給が一転して緩和する恐れがある。
- ・なお、感染拡大が進む多くの地域で外出自粛が求められる中、消費者の購買行動が例年と異なる可能性もある等、不透明な点が多ことから、業界として『年末年始』については万全な処理体制で対応するとともに、年明けの消費動向も注視する必要がある。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI】

(1)直近(本年10月～)の動向(表①参照)

・直近(12/14週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同106.4%、成分調整牛乳：同103.9%、加工乳：同96.9%、乳飲料：同97.0%。

牛乳類トータルでは同104.5%と前週(12/7週)より伸び率は拡大した。

・販売単価は、牛乳：189.4円、成分調整牛乳：172.3円、加工乳：185.7円、乳飲料：150.8円。

(2)各品目とも前週(12/7週)と同程度の販売個数となっており、牛乳・成分調整牛乳は伸び率が拡大した。

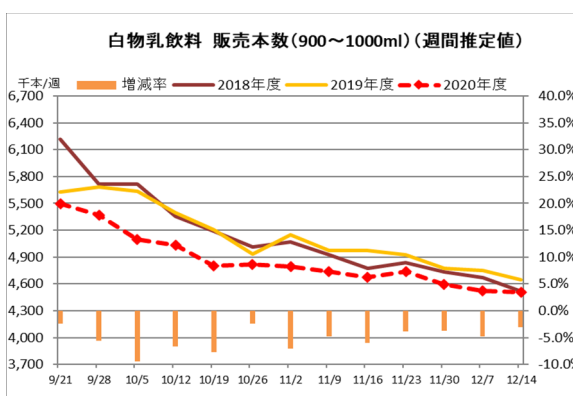
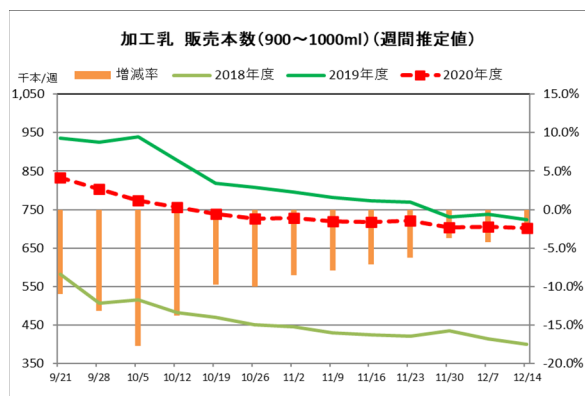
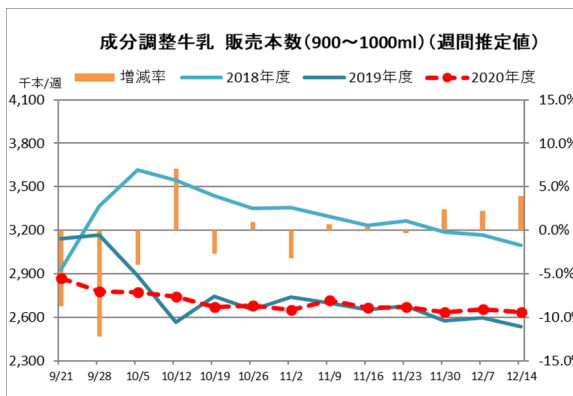
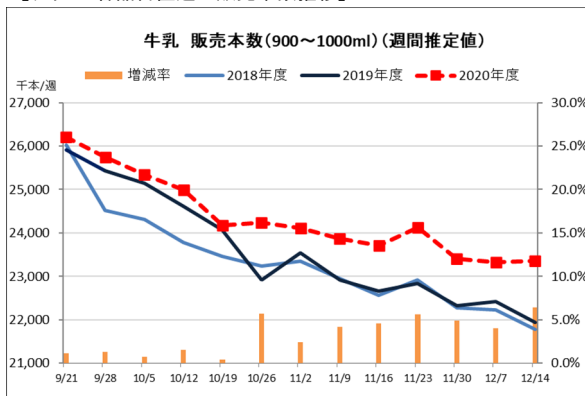
※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	10.5-	10.12-	10.19-	10.26-	11.2-	11.9-	11.16-	11.23-	11.30-	12.7-	12.14-
		販売個数	33,983	33,528	32,387	32,456	32,283	32,048	31,757	32,251	31,343	31,209
トータル	販売個数前年比	98.2	100.2	98.6	103.6	100.2	102.1	102.2	103.3	103.1	102.3	104.5
	販売単価	182.9	182.8	182.8	182.4	182.5	182.2	182.7	182.4	182.2	182.2	182.3
牛乳	販売個数	25,337	24,992	24,171	24,237	24,113	23,873	23,703	24,121	23,411	23,325	23,358
	販売個数前年比	100.8	101.5	100.4	105.7	102.4	104.2	104.6	105.6	104.9	104.0	106.4
成分調整牛乳	販売個数	2,774	2,744	2,671	2,679	2,652	2,718	2,663	2,670	2,636	2,655	2,637
	販売個数前年比	96.1	107.0	97.3	100.9	96.8	100.7	100.4	99.7	102.4	102.2	103.9
加工乳	販売個数	773	757	739	726	728	719	718	721	703	706	701
	販売個数前年比	82.2	86.3	90.2	90.0	91.4	92.0	92.8	93.7	96.3	95.8	96.9
乳飲料	販売個数	5,099	5,034	4,805	4,814	4,790	4,739	4,673	4,739	4,593	4,523	4,508
	販売個数前年比	90.5	93.3	92.3	97.6	93.0	95.2	94.0	96.2	96.3	95.2	97.0
	販売単価	150.5	150.6	150.8	150.6	150.8	150.1	150.7	150.7	150.3	150.6	150.8

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



**【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】**

(1)直近(本年10月~)の動向(表②参照)

直近(12/7週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%未満、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。

(2)ドリンクタイプは、前週(12/7週)より減少幅が拡大しているが、大容量タイプは、再び前年を若干上回った。

**【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績**

品目	10.5-	10.12-	10.19-	10.26-	11.2-	11.9-	11.16-	11.23-	11.30-	12.7-	12.14-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	↘	↓	↘	↘	↓	↘	↓	↓
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	→	→	↘	→	↘	→	→	↘	→	↘	→

↓	:前年比90%未満	↘	:前年比105%以上110%未満
↘	:前年比90%以上100%未満	↑	:前年比110%以上120%未満
→	:前年比100%以上105%未満	↑	:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。